

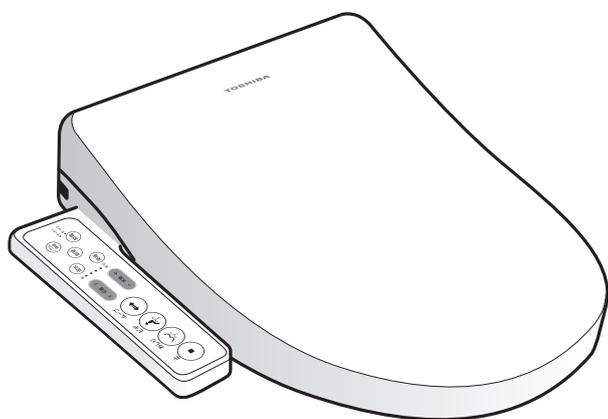
TOSHIBA

東芝温水洗浄便座〈家庭用〉

取扱説明書 施工説明書

形名

SCS-TCL6010



日本国内専用
Use only in Japan

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

保証書付

ご不明な点は下記にお問い合わせください。

- お買い上げの販売店
- 東芝ライフスタイル
ホームページ お客様サポート
- 東芝生活家電ご相談センター

受付時間：月～土 9:00～18:00 日・祝日 9:00～17:00
*当社指定休業日を除く

フリーダイヤル

 **0120-1048-76**

携帯電話・PHSなど **0570-0570-33** (通話料：有料)



もくじ

安全上のご注意……………	2～4
重大事故防止のためのお願い 定期点検のおすすめ……………	5
お知らせ……………	5
お願い……………	6
各部のなまえ……………	7～8
付属品……………	8

取り付け前の確認……………	9
取り付けかた……………	10～17
安全装置の点検……………	16

使いかた……………	18～23
調節……………	20～21
節電……………	22～23
脱臭……………	23

お手入れの しかた……………	24～27
-------------------	-------

凍結防止・長期間使わない ときの処置のしかた……………	28
故障かな?と思ったら…	29
安全にお使いいただく ために……………	30
仕様……………	30
保証とアフターサービス ……	31
保証書……………	裏表紙

ご使用前に

取り付けかた

使いかた

お手入れ

必要なとき

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害や損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

 **警告** 「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。

 **注意** 「軽傷を負うことや家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明

 中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。

 中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。

 中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。

警告

ご使用の前に



アースを接続する

アース線を確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電の原因になります。

- ・ガス管、電話線、避雷針、水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。
- ・アースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。（アース工事費は本製品の価格に含まれていません）

据え付け・設置について



水場での使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所には設置しない

感電・漏電・火災の原因になります。



指示

- 設置工事は、説明書に従い確実に行う

水もれ・火災・感電の原因になります。

- 設置工事部品は、必ず付属品および指定の部品を使用する

水もれ・火災・感電の原因になります。

- 電気工事が必要なときは、専門業者に依頼する

火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

本体や電源プラグ部に洗剤や汚水、水などをかけない

火災・感電の原因になります。



指示

化学療法を受けているかた、免疫不全症のかたなど、極度に免疫力が低下して医師の治療を受けているかたは、使用に際し医師に相談する

身体への著しい障害をまねくおそれがあります。



禁止

給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない

結露などにより、火災や感電の原因になります。



指示

落雷の可能性がある場合は、電源プラグを抜く

故障の原因になります。



禁止

雷が発生しているときは電源プラグに触れない

感電の原因になります。



禁止

本体に強い力や衝撃を与えない

割れたり、本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



禁止

車両・船舶など、移動体への設置はしない

- ・火災や感電、故障などの原因になります。
- ・本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



分解禁止

分解・改造・修理をしない

火災・感電・けがの原因となります。

修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

※お買い上げの製品とこの説明書に記載したイラストは異なることがあります。

警告

ご使用のときに



上水道以外には接続しない

禁止

井戸水や中水道、工業用水は使わないでください。ぼうこう炎や皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。また、異物などが配管に詰まったり、腐食により水もれや故障の原因になります。



異常・故障時はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止める

指示

火災・感電・水もれの原因になります。修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

《異常・故障時の例》

- ・配管や本体から水もれする
- ・異音・異臭がする
- ・本体が異常に熱い
- ・本体にひびや割れが入っている
- ・本体から発煙



長期間使わないときは、電源プラグを抜き、止水栓を閉め、温水タンクの水を抜く

指示

発火・水もれや、水の腐敗による皮膚の炎症などを起こす原因になります。



低温やけどに注意する

指示

便座に皮膚の同じ場所が長時間触れていると、低温やけどの原因になります。

次のようなかたが使うときは、便座温度調節ボタンを「切」にして、周囲のかたが十分気を付けてあげてください
 お子様／お年寄り／皮膚感覚の弱いかた／ご自分で温度調節のできないかた／眠気を誘う薬(睡眠薬やかぜ薬など)を服用されたかた／深酒・疲労の激しいかた など

電源・電源プラグ・コードは



指示

●電源は、交流 100 V 定格 15 A 以上のコンセントを単独で使う

火災・感電の原因になります。延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因になります。

●コンセントを差し込む際、電源プラグにアース線を挟み込まないようにする

ショートの原因になります。

●電源プラグの刃や刃の取り付け面のホコリは、定期的に乾いた布でふき取る

絶縁不良による火災の原因になります。



禁止

●電源コードを傷つけない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、重い物をのせない、高温部に近づけない、挟み込まない、加工しない

破損し、火災・感電の原因になります。

●傷んだ電源プラグ・コードや、ゆるんだコンセントを使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



プラグを抜く

●お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になります。

●電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



ぬれ手

禁止

●電源プラグはぬれた手で抜き差ししない

感電の原因になります。

注意

ご使用前に

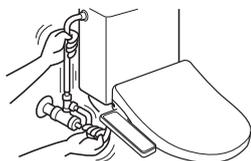
据え付け時・本体の着脱時は



禁止

●本体給水ホース・タンク給水ホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、力を加えたりしない

破損・接続部のゆるみにより、水もれの原因になります。



指示

●水道工事などは、条例に基づき行う

水もれの原因になります。

●持ち運ぶときは、必ず本体を持つ

便座や便座ふたを持つと本体からはずれ、けがの原因になります。



指示

温水タンク水抜き栓を取り付けるときは確実に締める

確実に締めないと、水もれの原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意

ご使用のときに



指示

次のようなかたが使うときは、便座に座るときや立ち上がるときに、転倒しないように周囲のかたが注意する

お子様／お年寄り／自分で便座に座ることや立ち上がることができないかた

便座から立ち上がる時、着座したままで体を前にずらすような動作を繰り返すと、本体が便器からはずれるおそれがあり、便器から落ちてけがをする原因になります。

凍結のおそれがあるときは(凍結予防)



指示

●暖房するなど、周囲の温度が氷点下にならないようにする

●温水タンクおよび本体給水ホースの水を抜く

凍結すると配管部などが破損し、水もれの原因になります。

お手入れのときは



指示

●ストレーナーをお手入れするときは、止水栓を閉める (→ 25 ページ)
水もれの原因になります。



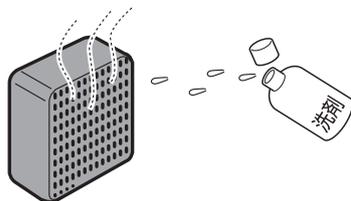
禁止

●酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない
プラスチック・金具を傷めます。

●脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない

洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。

万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。



禁止

家庭用以外（店舗などでの長時間使用や不特定多数の人の使用など）では使用しない

故障や発煙・発火などの不具合の原因になります。

使用時・取り扱いについて



禁止

●便座ふた・便座開閉時に、指などを挟まない

けがの原因になります。

●説明書に記載されている用途以外に使わない

火災・感電・けがの原因になります。

●便座ふたに寄りかからない

便座ふたが割れて転倒したり、けがの原因になります。

●破損部はさわらない

けがの原因になります。

●脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない

指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンでけがをする原因になります。

●開口部から指や物を入れない

感電・けが・故障の原因になります。

●便座や便座ふたに乗ったり、強い衝撃を与えたりしない

転倒したり割れたりして、けがの原因になります。

●本体操作パネル部に乗ったり、手をつけて座ったり、立ち上がったたりしない

転倒したり割れたりして、けがの原因になります。

●トイレ暖房用ストーブ・ヒーターやたばこなどの火気類を近づけない

火災・変色・故障の原因になります。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- この説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

重大事故防止のためのお願い

日本レストルーム工業会からのお知らせ

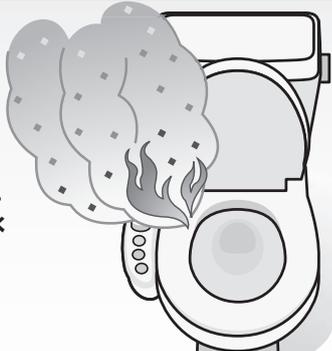
重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

故障したままのご使用や長年のご使用は、電子・電気部品が劣化し発煙発火の恐れがあります

定期的な点検をおすすめします

安心してご使用いただくため、定期的な点検(有料)をおすすめします。また、長期間(10年以上)ご使用の温水洗浄便座は買い替えをご検討ください。販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。



故障したままで使わないでください

火災や感電、室内漏水の原因になります。異常に気づいたら、すぐに電源プラグを抜き、止水栓を閉めてご使用を中止し、販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

ご使用前に

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

次のような症状は、火災や感電の原因になります。電源プラグを抜き、止水栓を閉めて、すぐに販売店、工事店またはメーカーへご連絡してください。

- | | | |
|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある | <input type="checkbox"/> 製品から水漏れしている(内部の電子・電気部品が被水) | <input type="checkbox"/> 電源コードが熱くなっている |
| <input type="checkbox"/> 便座コードがねじれたり、便座で挟み込んだりしている | <input type="checkbox"/> 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている | <input type="checkbox"/> 電源プラグの差込部が発熱・変色している |
| <input type="checkbox"/> 便座にひびや割れがある | <input type="checkbox"/> (内部の電子・電気部品が被水) | <input type="checkbox"/> 便座が異常に熱いときや、冷たいときがある |

一般社団法人
発行元: **日本レストルーム工業会**

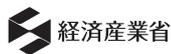
<http://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ

検索



詳細はこちらを
ご覧ください



経済産業省

一般社団法人
リビングアメニティ協会

故障かな?と思ったら(→29ページ)もあわせてお読みください。

お知らせ

- 洗浄後、ノズル付近から水が出ます。本体内部の残水が出るもので、異常ではありません。
- 約15分連続で使うと脱臭は、自動停止します。続けて使うときは、一度立ち上がって座り直してください。
脱臭機能は、便器内の脱臭を目的としています。トイレ全体を脱臭することはできません。
- 洗浄を2分以上続けると、自動停止します。続けて使うときは、もう一度洗浄するボタンを押してください。
- ノズル付近から少量の水が出ることがあります。温水タンク内の水が温められ、膨張して出てくるもので、異常ではありません。
- 連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターへお問い合わせください。
- 出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

お願い

据え付け・施工、設置場所について

- 給水管の取りはずし、タンク給水ホースの取り付けのときに、ボールタップ接続ねじ部を回さないでください
回すとロータンクに水が入らなくなる場合があります。
(→ 13 ページ)
- 取付ボルトセットやホースのナットを締めるときは、必ず付属のスパナで締めてください。大きなスパナなどを使用すると部品が破損し、水もれなどの原因になります
- 本体の取り付け後は、水もれがないことを確認するまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 寒冷地用給水管・フラッシュバルブの配管工事や、その他の配管工事が必要なときは、専門業者に依頼してください
専門的な工事が必要です。
なお、使わない給水管は保管しておいてください。
- 本体を便器に着脱するときは、給水ホースなどに無理な力を加えないでください
- 直射日光を当てないでください
樹脂部が変色・劣化する原因になります。
- 電源コードの長さは約 1m です。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください

お手入れについて

- 本体のよごれは、水を含ませた布でふき取ってください
ひどいよごれは、適量に薄めた中性洗剤を布に含ませてふき洗いし、水ぶきして洗剤分をふき取ってください。
消毒などには、適量に薄めた逆性石けんを布に含ませてふき洗いし、水ぶきして液をふき取ってください。
- 脱臭フィルターの黒粉が手に付いたときは、すぐに洗ってください
皮膚や目などに炎症を起こすおそれがあります。
- 便器洗い用のトイレ洗剤を、本体に付けしないでください
本体を傷めます。また揮発性ガスによって本体を傷めることがありますので、便器内を洗剤で掃除する場合でもふたを開けたままにして短時間でお手入れしてください。
(便器内の洗剤はすぐに流してください)

使用時・取り扱いについて

- 本体がガタついたまま使用しないでください
転倒したり、割れてけがをする原因になります。
- 便座・便座ふたを乱暴に開閉しないでください
割れたり、故障したりする原因になります。
- 着座するときはゆっくり腰をおろしてください
破損の原因になります。
- ノズルなどによごれを付けしないでください
においの発生や故障の原因になります。
- 操作パネルのボタンを、必要以上に強く押さないでください
故障の原因になります。
- 男性の小便時には、洗浄ノズルに小便がかからないようにしてください
故障の原因になります。
- 市販の便座カバーやふたカバーには、サイズが合わずカバーが破損するものがあります。購入前にサイズをご確認ください
また、便座ふたにカバーなどを付けて開閉に支障があるときは、カバーをはずしてください
- ラジオなどは本体から離して使ってください
ラジオに雑音が入ることがあります。
- 便座の上に幼児用補助便座、やわらか補助便座などを置いて使用した場合は、使用後取りはずしてください
一部の機能が使用できなくなることがあります。
- 製品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください
温水タンクが空の状態ではヒーターが入るため故障の原因になります。
- 便座・便座ふたの上にものを置かない、手で押さえないでください
着座スイッチが入り、ボタンに触れたときノズルから温水が出て、床などをぬらす原因になります。
(便座・便座ふたに力が加わると着座スイッチが入ります。)

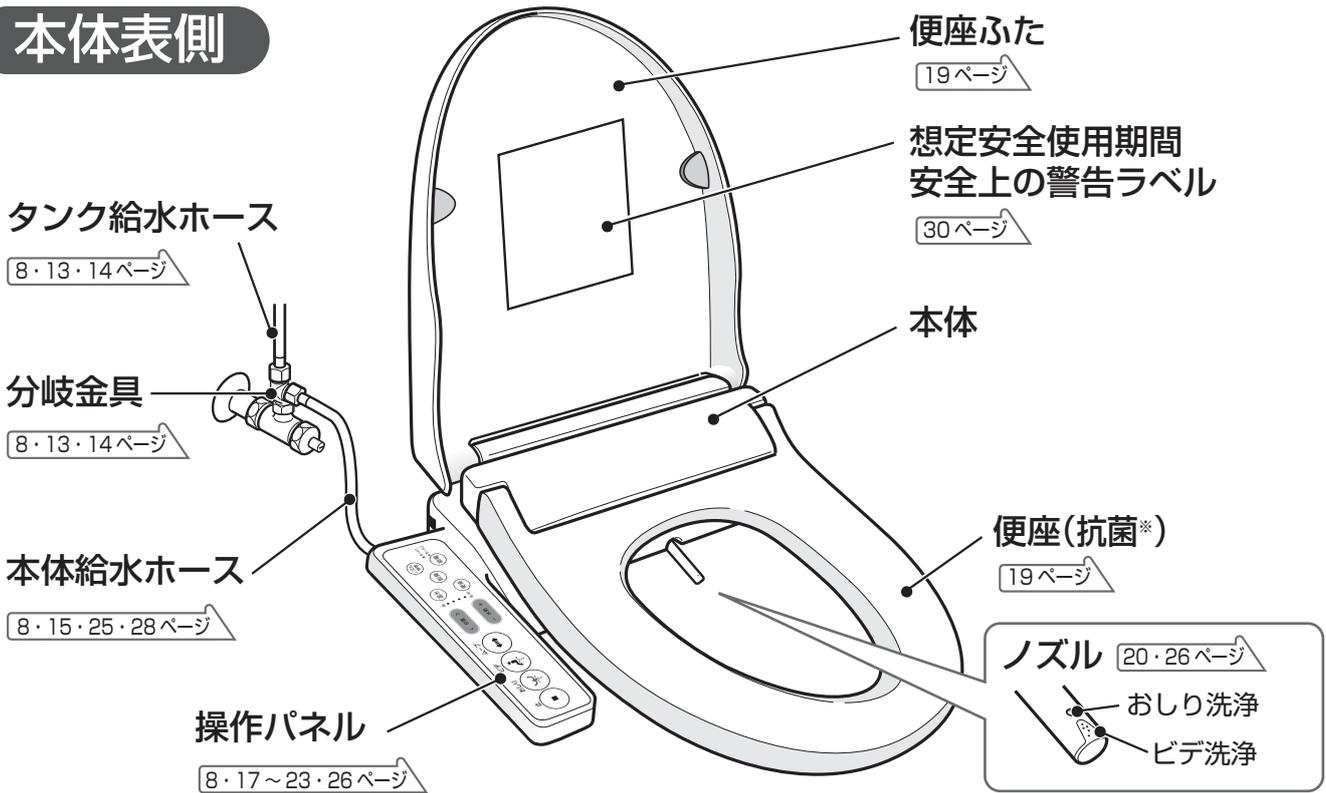
脱臭フィルターの廃棄について

- 不要になった脱臭フィルターは、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください

各部のなまえ

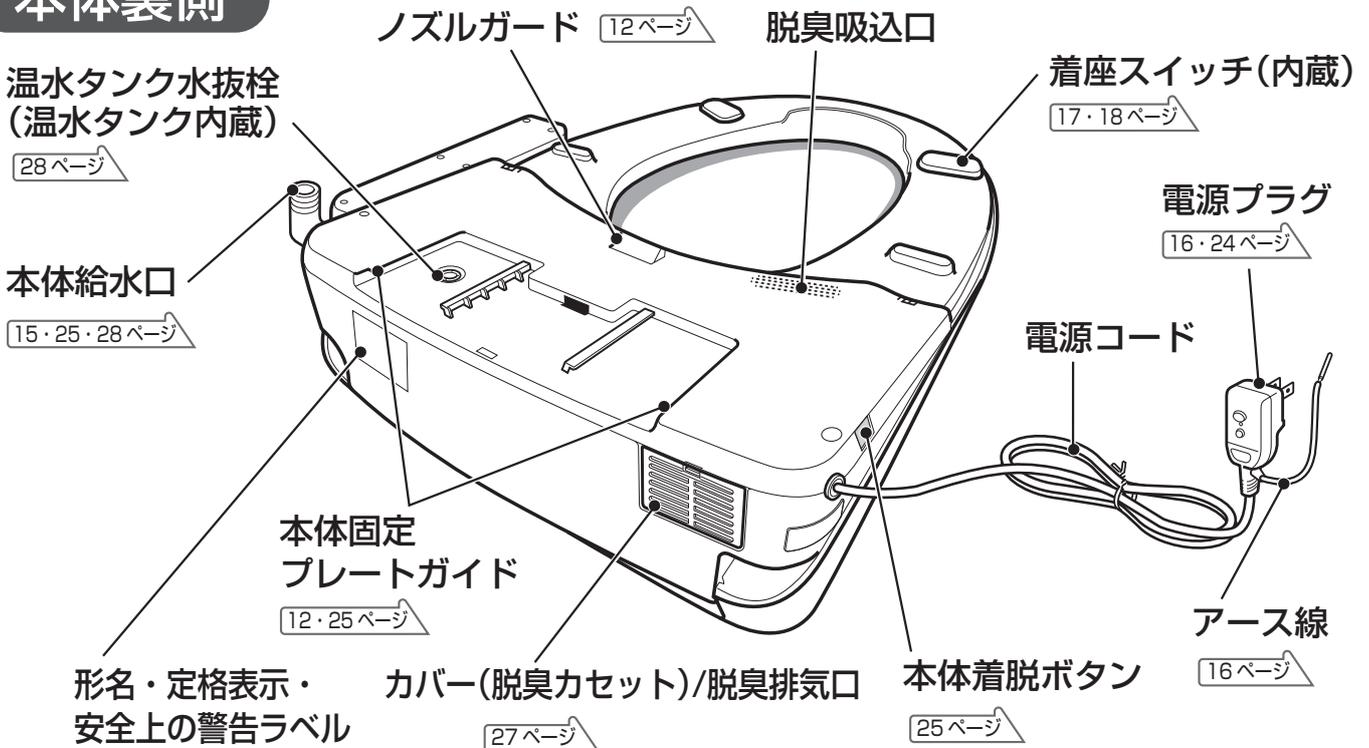
このマークの中の数字は、掲載ページを示しています。

本体表側



ご使用前に

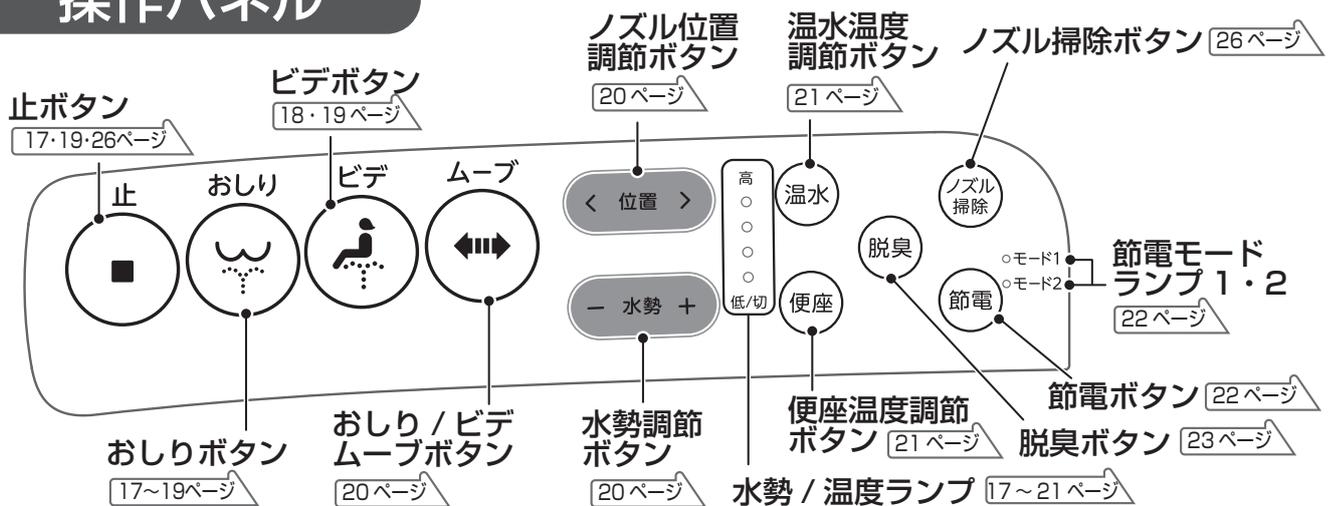
本体裏側



※抗菌加工部位：便座
 試験機関：SGS-CSTC Standards Technical Services(Shanghai)Co.,Ltd.SGS
 試験方法：GB/T 31402-2015 / ISO 22196:2007(IDT)
 試験結果：抗菌効果あり 99.9%
 試験番号：ASH19-027195-01

各部のなまえ (つづき)

操作パネル



●この取扱説明書でのランプの表しかた

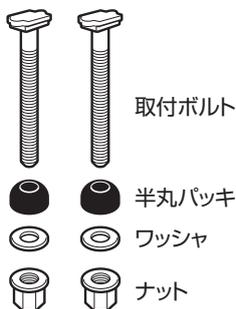
●：点灯 ○：消灯 ◐：点滅

●操作音について (本体から音がします)

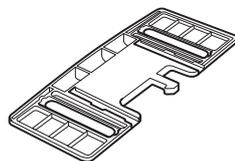
「ピッ」・・・各ボタンを押したとき
「ピッピッ」・・・操作を受け付けないうち
(脱臭運転を解除したとき)

付属品

本体取り付け時に必要なもの



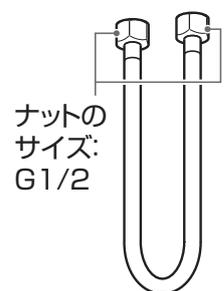
(取付ボルトに半丸パッキン・ワッシャ・ナットが付いた状態になっています)
取付ボルトセット 1セット



本体固定プレート 1枚



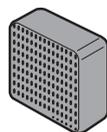
タンク給水ホース 約0.5m * 1 1本



本体給水ホース 約1m * 2 1本



スパナ 1個



脱臭フィルター 1個 (消耗部品)
※本体に装着済



ねじのサイズ: G1/2
分岐金具 1個



クッション 1個
(取付説明書付)

- * 1 ロータンクと止水栓の間が離れていて付属のタンク給水ホース (約0.5m) で足りない場合は、別売の給水ホース (約1.5m、約2m) をお求めください。
- * 2 製品本体と止水栓の間が離れていて付属の本体給水ホース (約1m) で足りない場合は、別売の給水ホース (約1.5m、約2m) をお求めください。

お願い

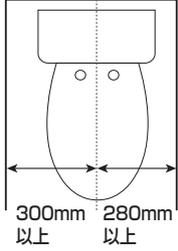
- 本体給水ホースとタンク給水ホースを接続するときは、間違えないように注意してください。
- 付属品のご購入は、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターへお問い合わせください。

取り付け前の確認

温水洗浄便座の取り付け作業前に、以下の内容をご確認ください。
 付属品以外の別売部品が必要なときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付け場所の寸法の確認

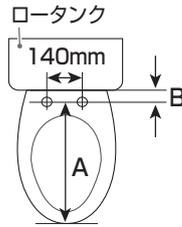
トイレの広さ



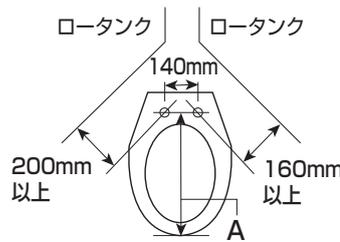
便器のサイズ・タンクと取付穴の位置

使用できる便器サイズ	B寸法
レギュラーサイズ (A寸法 440mm)	65mm 以上
エロンゲートサイズ (A寸法 470mm)	50mm 以上

《ロータンク式》

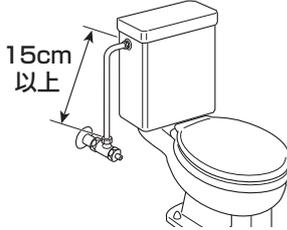


《隅付ロータンク式》



- 便器によって、便座の内側から便器のふちが見える場合がありますが、使用に問題ありません。(便座の先端が便器の先端より多少出っ張ります)
- ロータンクの形状によっては、便座ふたを開くとロータンクに当たる場合がありますが、最後まで開かなくても自立しますので、使用に問題ありません。便座ふたがロータンクに当たる場合は、付属のクッションをロータンクに貼り付けてください。(→12ページ)
- 便座ふた・便座が自立しない場合は、本体固定プレートの位置を手前側に調整してください。

止水栓とロータンクの間の寸法



止水栓とロータンクの入り口が近接していると、給水ホースの引き回しが困難になる場合があります。
 止水栓とロータンクの入り口が直線で 15cm 以上であれば、給水ホースの引き回しのスペースが取れ、取り付けできます。

アース端子の有無の確認

ある

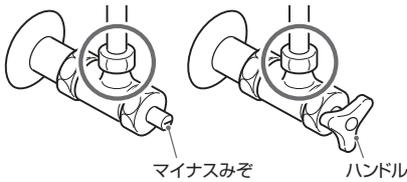
接続できます

ない

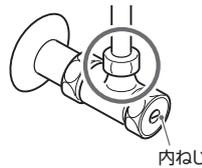
アース工事を電気工事店または販売店にご相談ください

止水栓などの種類の確認

■ 一般の止水栓



■ 内ねじ止水栓



○部の分岐金具取付部のねじサイズが G1/2 であれば、付属品の分岐金具で取り付けられます

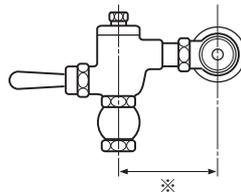
ねじサイズが合わない場合はお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください

■ 寒冷地用給水管 (止水栓なし)



- 付属品の分岐金具のほかに、TOTO 製給水管 T5MF7RR (市販品) が必要です。

■ フラッシュバルブ式



- 付属品の分岐金具のほかに、フラッシュバルブアダプター (市販品) が必要です。
 ※寸法をご確認の上、フラッシュバルブアダプターを選定してください。

専門的な工事が必要です
 専門業者に工事をご依頼ください

ご使用前に

取り付けかた

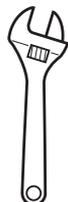
取り付けかた

取り付け作業に必要なもの

配管時に必要なもの



スパナ
(付属品)

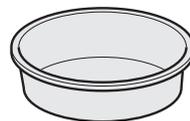


モンキー
レンチ



マイナス
ドライバー

給水管を取りはずすときの残水処理
に必要なもの



広口容器



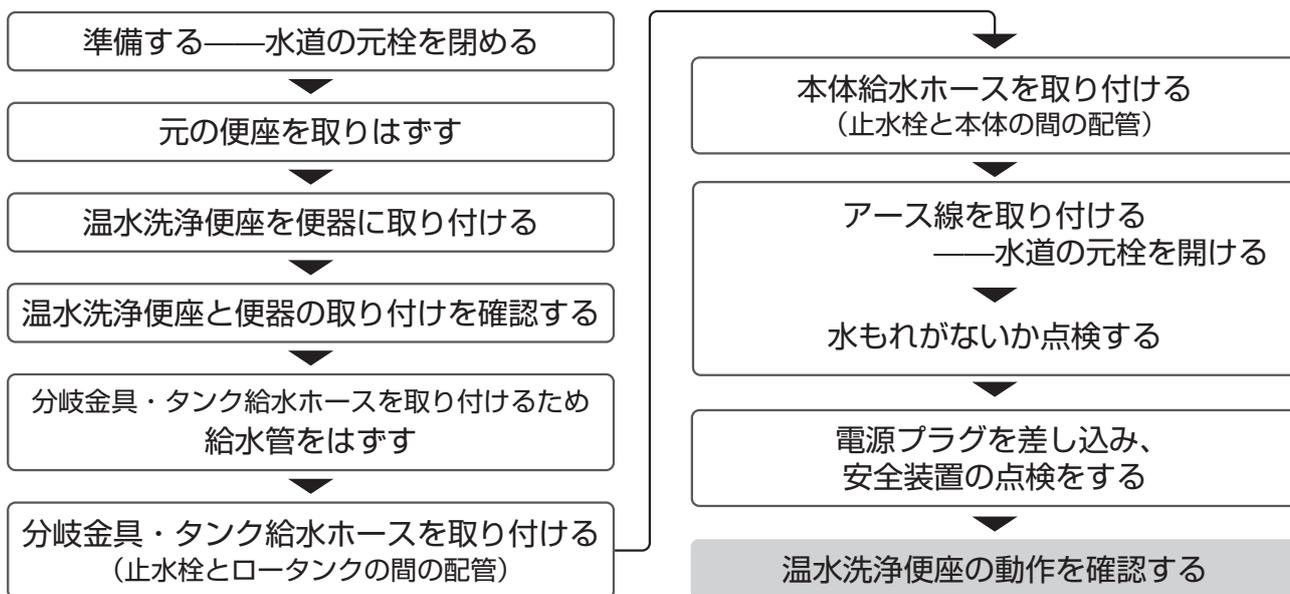
ぞうきん

- スパナ（付属品）は、お手入れするときなど取り付け後も使うことがありますので捨てずに保管してください。

お願い

- 電源プラグは、温水洗浄便座を便器に取り付け、配管接続部などに水もれがないか点検するまでは絶対にコンセントに差さないでください。
以下の取り付け・確認の流れに従ってください。

■取り付け・確認の流れ

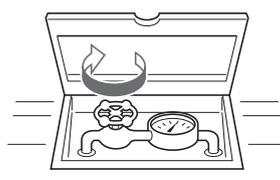


取り付けの手順

準備する

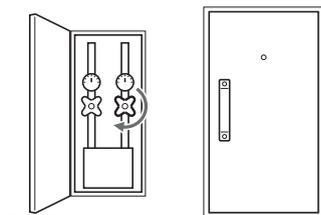
水道の元栓を閉める

- 水を使用中の器具がないことを確認し、水道の元栓を閉めます。



戸建住宅

集合住宅



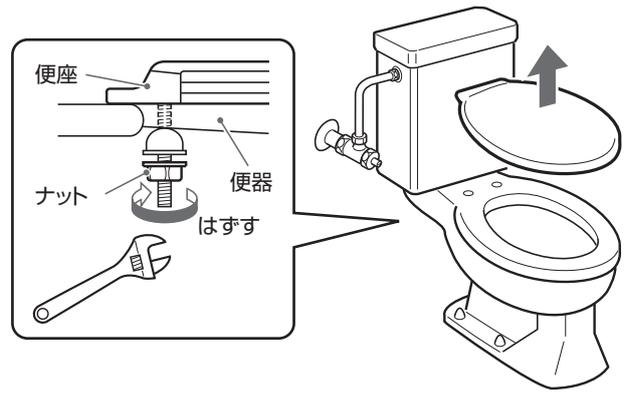
お願い

- 元栓を閉めたら、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

元の便座を取りはずす

ナットをモンキーレンチでゆるめ、便座を取りはずす

- 取りはずした便座ふた・便座・ナットなどは保管しておいてください。引っ越しなどで必要になることがあります。



温水洗浄便座を取り付ける

1 取付ボルトから半丸パッキン・ワッシャ・ナットを回してはずす

2 本体固定プレートの「BACK」「FRONT」の文字のある面を上に向け、取付ボルトを本体固定プレートの穴に差し込む

3 取付ボルトを「BACK」側に寄せ、便器の取付穴に差し込む

4 本体固定プレートからロータンクまでの距離 (A) を確認する

- ・ 2cm を超える場合 → 手順5に進む
- ・ 2cm → 手順6に進む
- ・ 2cm 未満 → 便座ふたを開くとロータンクに当たり自立しません。

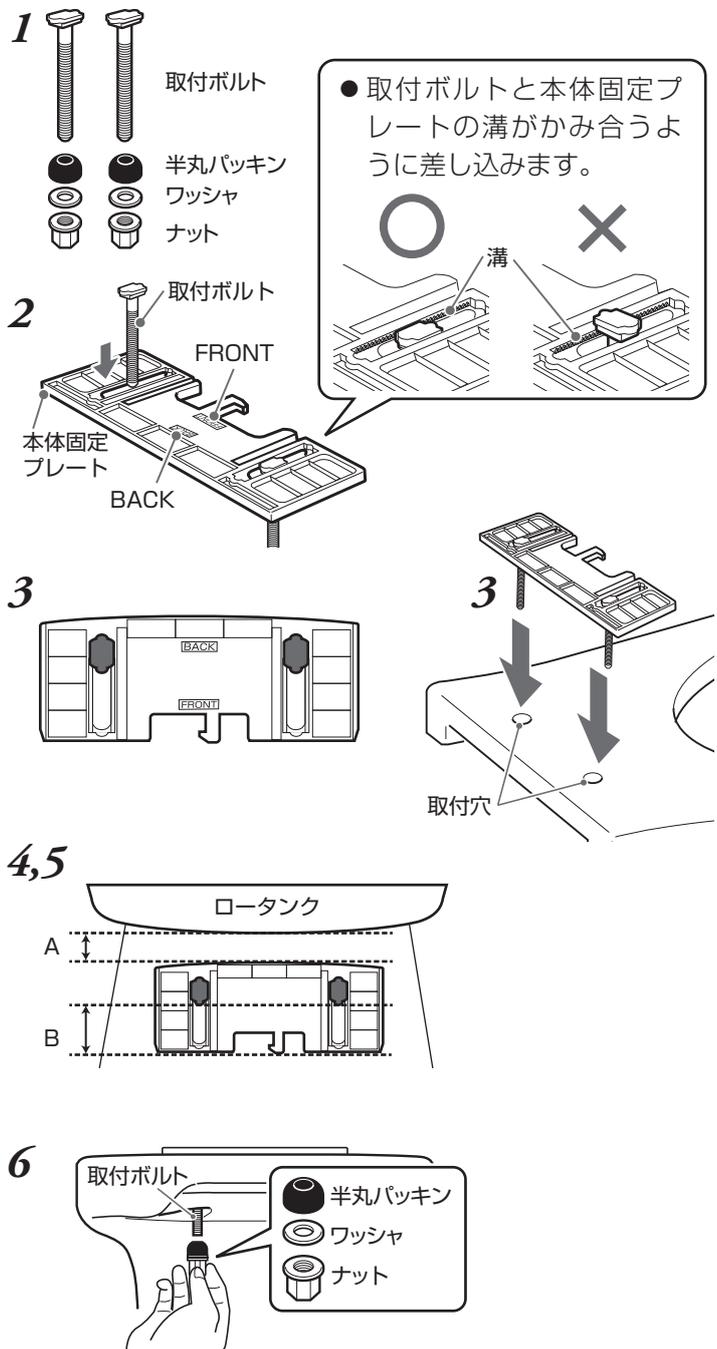
5 本体固定プレートの位置を決める
本体固定プレートを奥側にずらして、取付ボルトから本体固定プレートの前端までの距離 (B) を下記のようにすると、温水洗浄便座を取り付けたときに便器と先端が合いやすくなります。

便器のサイズ	Bの距離
レギュラーサイズ	約 1cm
エロンゲートサイズ	約 4cm

(便器サイズの確認 → 9ページ)

- ・ただし、右図の A の距離は、2cm 未満にならないように注意してください。

6 半丸パッキン・ワッシャ・ナットを取付ボルトにねじ込み、手で締め付ける



- 半丸パッキンは、半丸側を便器側にしてください。

取り付けた

取り付けかた (つづき)

7 温水洗浄便座を本体固定プレートに取り付ける

- 本体固定プレートガイド (→7ページ) と本体固定プレートを合わせ、カチッと音がするまで本体を水平にして奥へ押し込んでください。押し込むときは便座だけを持たずに本体を持ってください。本体固定プレートに当たってしまうときは、本体を少し浮かせて、本体固定プレートガイドに合わせてください。

〔 本体手前側を浮かせたまま押し込むと、本体固定プレートに当たってしまう場合があります。 〕

8 温水洗浄便座の位置を調整する

- ノズルガードが便器にかかっていないことを確認します。
- 便器の先端(中心)に、便座の先端(中心)を合わせるようにします。うまく合わない場合は、本体をはずして、ナットをゆるめて本体固定プレートの位置を調整してください。(本体を取りはずすときは、本体着脱ボタンを押したまま手前に引き出してください。→25ページ)
- 本体背面とロータンクの間は2cm以上あけてください。
- 便座ふた・便座を開けたときに倒れてくる場合は、本体固定プレートの位置を手前側に調整してください。

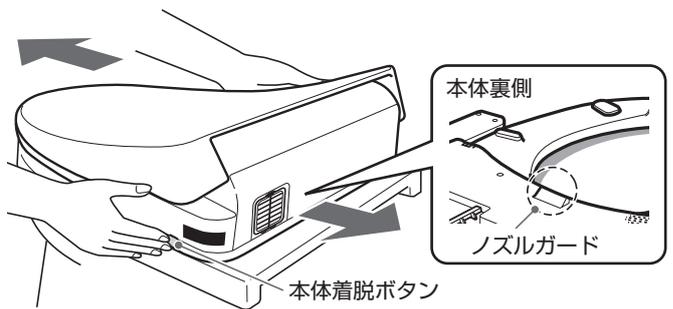
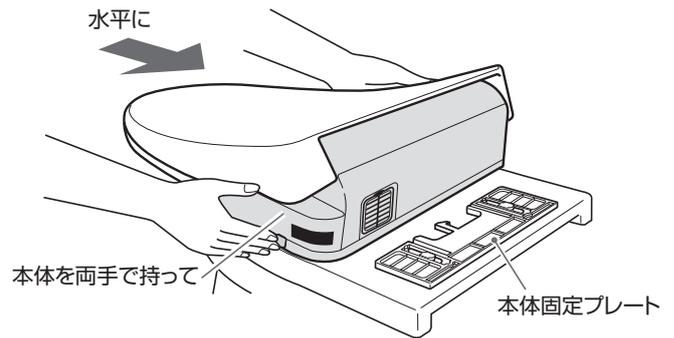
9 ナットを回して締め付ける

- 最後は付属のスパナでナットを締め付けてください。(強く締めすぎると破損することがあります)

10 便座を前後左右に動かし、はずれないことを確認する

お知らせ

- 本体を便器に取り付けたとき、上下左右に多少のガタツキが発生しますが異常ではありません。本体の着脱方式によるものです。
- 便座が上下する構造のため、便座と便器の間にすき間を設けています。(→18ページ)

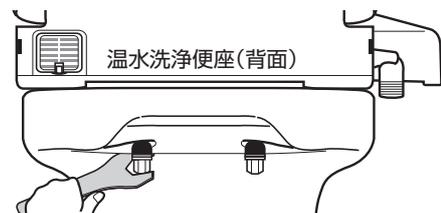
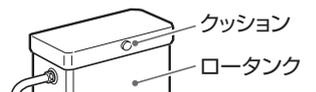


お知らせ

- 便器のサイズによっては、便座の先端が便器の先端から数cm出ることがありますが、正常にお使いいただけます。
- ロータンクの形状によっては、便座ふたを開くとロータンクに当たる場合がありますが、最後まで開かなくても自立しますので、使用に問題ありません。

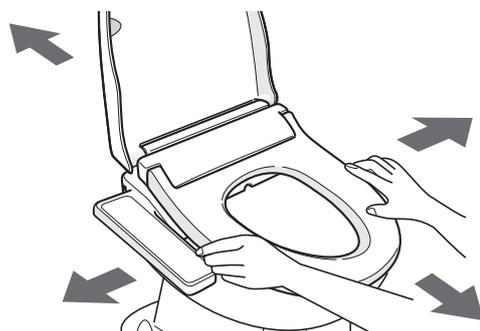
便座ふたがロータンクに当たる場合

付属のクッション(→8ページ)をロータンクに貼り付けてください。



お願い

- 長年使用すると、取付ボルトの締め付けがゆるんでくる場合があります。そのときは、ナットを締め付け直してください。



分岐金具・タンク給水ホースを取り付けるため 給水管をはずす

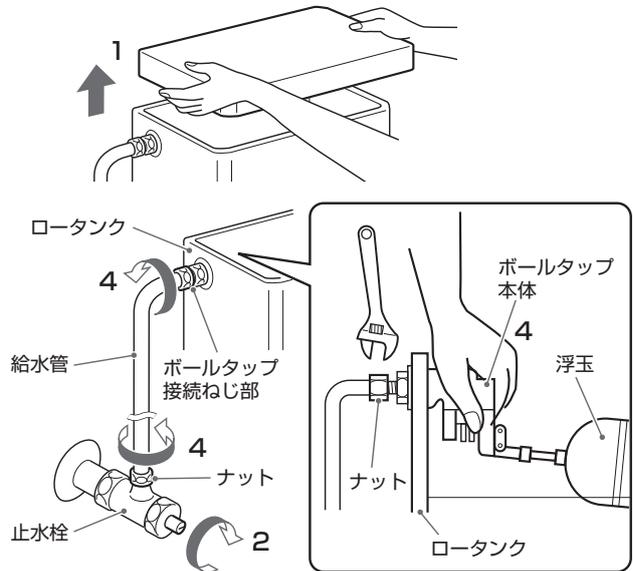
1 ロータンクの上ぶたをはずす

2 マイナスドライバーなどで
止水栓を閉める

3 タンク内の水を流し、水が給水
されないことを確認する

4 ナットを回して、止水栓および
ロータンクから給水管をはずす

- ボールタップ本体根元部をしっかりと握り、ボールタップ接続ねじ部を回さないようにしてください。



- 取りはずした配管やその他の接続部などは保管しておいてください。引っ越しなどで必要になることがあります。

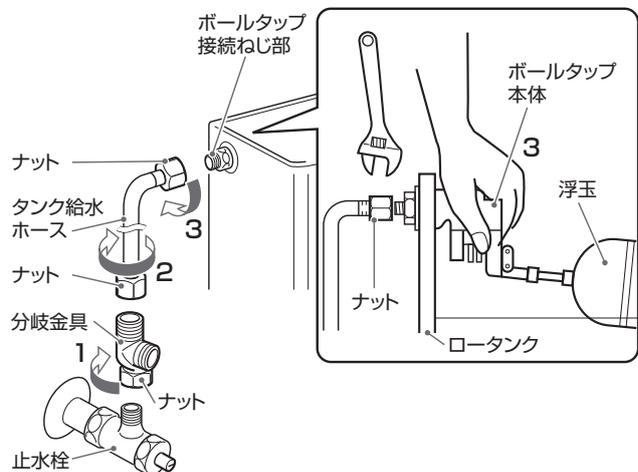
分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける (止水栓とロータンクの間配管)

1 分岐金具を止水栓に取り付ける
● ナットを回して取り付けます。

2 タンク給水ホースを分岐金具に
取り付ける
● ナットを回して取り付けます。

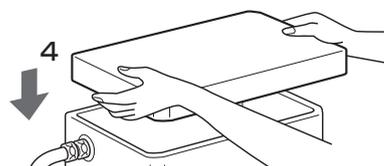
3 タンク給水ホースをロータンク
に取り付ける
● ナットを回して取り付けます。
● タンク給水ホースがねじれないように
手で押さえながら、モンキーレンチで
ナットを締めます。
● ボールタップ本体根元部をしっかりと
握り、ボールタップ接続ねじ部を回さ
ないようにしてください。

4 ロータンクの上ぶたを元に戻す



お願い

- ナットを取り付けるとき、ボールタップ接続ねじ部が回って浮玉がタンク側壁と干渉すると、ロータンク内に水が入らなくなることがあります。このときは、元の位置にボールタップを戻してください。



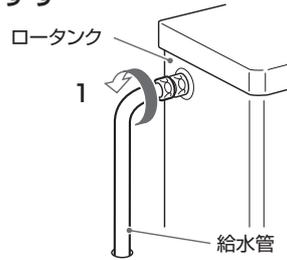
取り付けかた (つづき)

専門的な工事が必要な取り付け

寒冷地用給水管（止水栓なし）・フラッシュバルブの配管工事（給水管をはずす→分岐金具・タンク給水ホースを取り付ける）が必要な場合は、専門業者へ依頼してください。

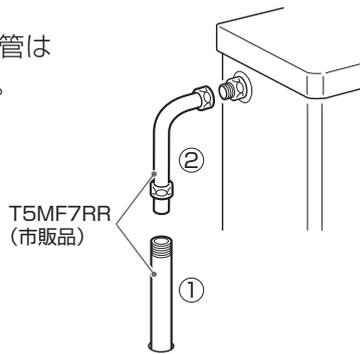
寒冷地用給水管（止水栓なし）の場合

1 給水管を取りはずす

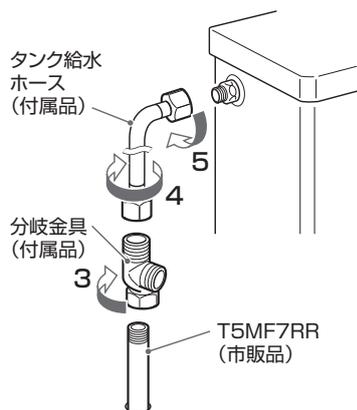


2 TOTO 製給水管 T5MF7RR（市販品）について

②側の給水管は使いません。



3 T5MF7RR に分岐金具を取り付ける

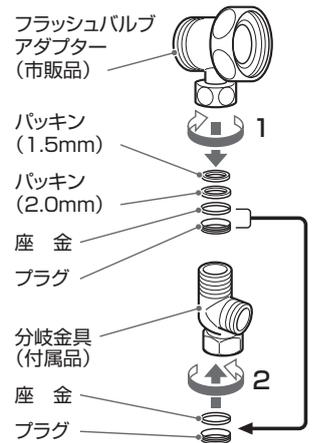


4 分岐金具にタンク給水ホースを取り付ける (→ 13 ページ)

5 ロータンクにタンク給水ホースを取り付ける (→ 13 ページ)

フラッシュバルブ式の場合

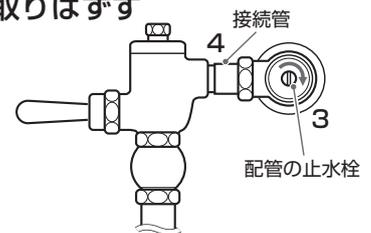
1 フラッシュバルブアダプターからプラグなどを取りはずす



2 分岐金具に 1 で取りはずしたプラグと座金を取り付ける

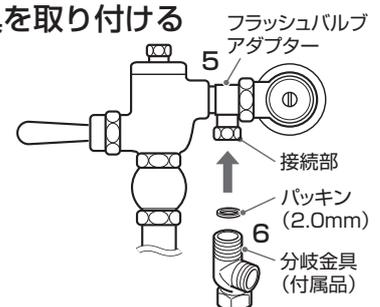
3 マイナスドライバーなどで止水栓を止める

4 接続管を取りはずす



5 フラッシュバルブアダプターを取り付ける (接続部が下になるようにする)

6 分岐金具を取り付ける



本体給水ホースを取り付ける (止水栓と本体の間の配管)

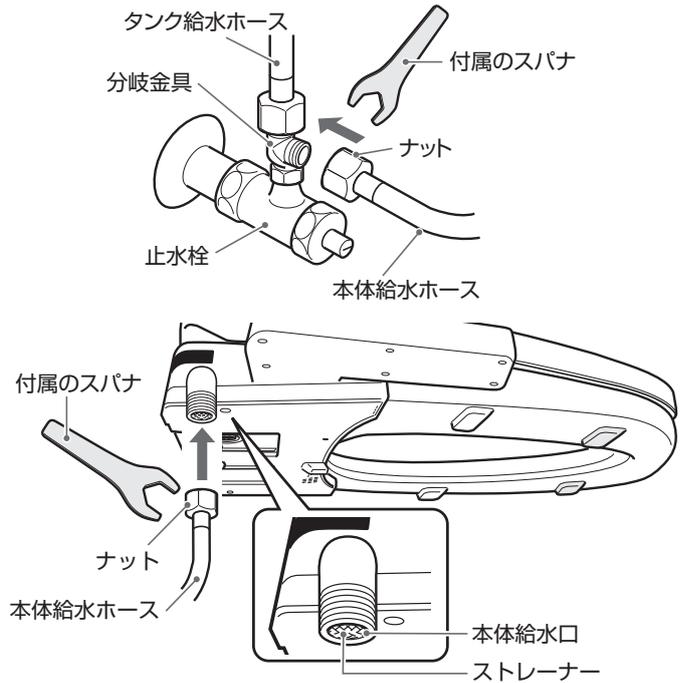
1 止水栓に接続した分岐金具へ、本体給水ホースのナットを手で回して取り付け、付属のスパナでナットを締める

- ナットを締めるときは、必ず付属のスパナを使用してください。大きなスパナなどを使用すると、部品が破損し水もれなどの原因になります。

2 本体給水口の奥にストレーナーが付いていることを確認し、本体に本体給水ホースのナットを手で回して取り付ける

- ストレーナーは、水道水内の異物を除去します。

3 本体給水ホースがねじれないように手で押さえながら、付属のスパナでナットを締める



- 本体給水口が便器に重なるときは、本体を便器に装着する前に本体給水ホースを取り付け、その後本体給水口を後ろ方向に回してください。

まだ電源プラグは差し込まないでください

電源プラグは、水道の元栓と止水栓を開いてからコンセントに差し込みます。

配管接続部などに水もれがないか点検する

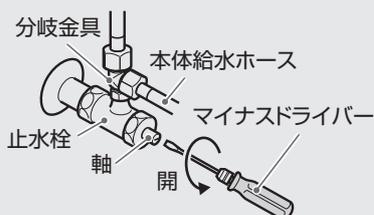
1 給水する前に、各接続部のゆるみがないか確認する

- ゆるみがあるときは、付属のスパナでしっかり締めてください。

2 アース線を取り付ける
(→ 16 ページ)

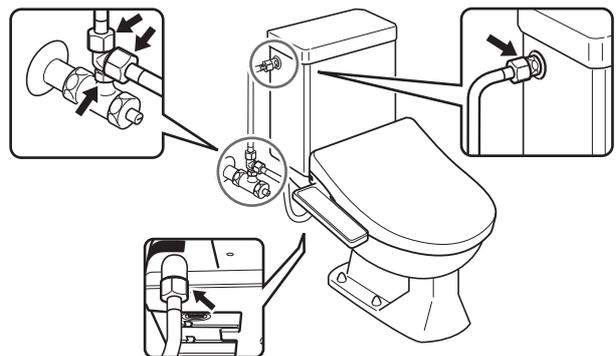
3 水道の元栓を開く

4 止水栓を開いて、配管接続部に水もれがないか確認する



5 時間の経過とともに水もれすることがあるので、据付工事後、数日間は広口容器を設置しておく

→ : 水もれ点検箇所



水もれがあった場合

1. 水道の元栓と止水栓を閉める
2. 水もれのある接続部をはずし、もう一度取り付ける

お願い

- どうしても水もれが直らないときは、水道の元栓を閉めた後、水道工事店にご連絡ください。

お願い

- ナットから水もれしていないか、定期的 (月 1 回) に確認をしてください。

取り付けかた (つづき)

アース線を取り付ける・安全装置の点検をする

警告



アースを
接続する

アース線を実際に取り付ける

故障や漏電のときに感電の原因になります。

- ・ ガス管・電話線・避雷針・水栓などへのアース線接続は法令で禁止されています。
- ・ アースの取り付け（D種接地工事）は、電気工事店または販売店にご相談ください。
（アース工事費は本製品の価格に含まれていません）

1 アース線をアース端子へ確実に接続する

- 設置場所の変更や転居のときも、アースの取り付けをしてください。
- アース端子がないときは、電気工事店または販売店にご相談ください。

2 コンセントに電源プラグを根元まで差し込む

- 入表示ランプが点灯します。

入表示ランプが点灯しない場合

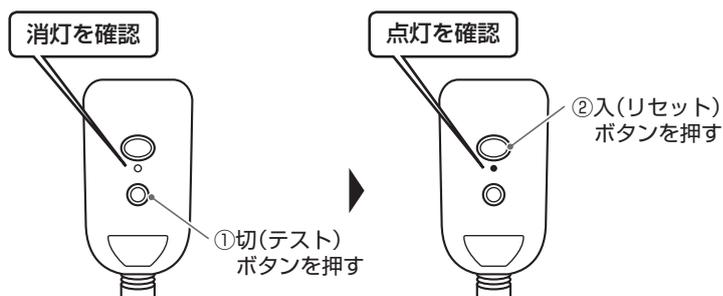
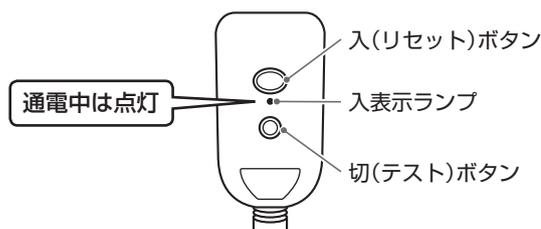
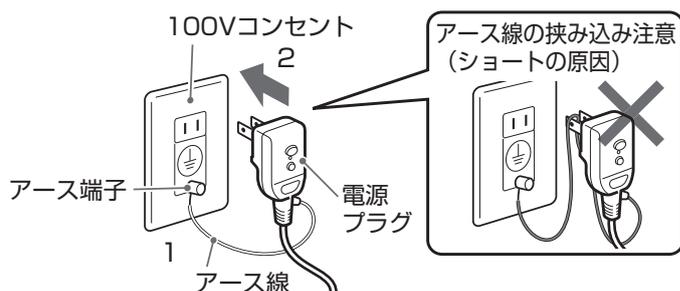
入（リセット）ボタンを押して点灯させてください。

- 初期動作を開始します。（→17ページ）

3 安全装置の点検をする

電源プラグには、本体内部で漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。（漏電が起こった場合は、入表示ランプが消灯します）

- ① 切（テスト）ボタンを押して、入表示ランプが消灯することを確認する
- ② ①の確認が終わったら、入（リセット）ボタンを押して入表示ランプを点灯させる



上記3の①②を定期的（月1～2回）に行ってください。

お願い

- 入（リセット）ボタンを押しても入表示ランプが点灯しない場合は、漏電していますのですぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

使いかた

警告



指示

次のようなかたが使うときは、便座に座るときや立ち上がるときに、転倒しないように周囲のかたが注意する

お子様／お年寄り／自分で便座に座ることや立ち上がることができないかた
便座から立ち上がる時、着座したままで体を前にずらすような動作を繰り返すと、本体が便器からはずれおそれがあり、便器から落ちてけがをする原因になります。

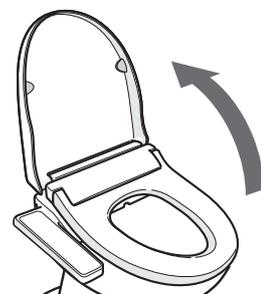
おしり・ビデ洗浄についてお願い

- 長時間の洗浄や洗いすぎにご注意ください。また、局部内は洗わないでください。常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスを崩してしまう可能性があります。
- 局部の治療・医療行為を受けているかたは、使用について医師の指示に従ってください。

お知らせ

- 温水温度・便座温度の調節と脱臭・節電の設定は、便座ふたを閉じた状態でも操作できます。それ以外の操作は便座ふたを開け、便座に座らないと動作しません。

1 便座ふたを開ける

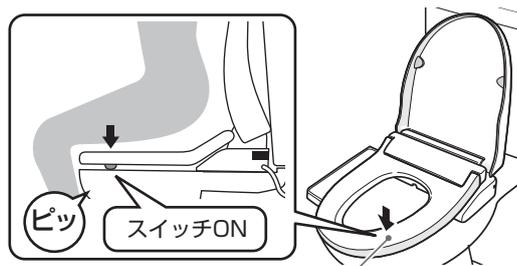


2 便座に座る ピッ

- 着座スイッチが入ると「ピッ」と鳴り、洗浄操作が可能になります。
- 脱臭が始まります。(脱臭ファン動作音発生)
- 水勢／温度ランプは便座温度を表示します。

着座スイッチについて

- 便座に座ると着座スイッチが入り、各機能が使えます。
- 便座の中央部に腰かけてください。便座の片側(着座スイッチのない側)に座ると着座スイッチが入らない場合があります。
- 体重の軽いお子様が使用される時は、着座スイッチが入りにくい場合があります。
- 便座が上下する構造のため、便座と便器の間にすき間を設けています。



着座スイッチ (便座裏面)

3 おしり または ビデ ボタンを押す ピッ

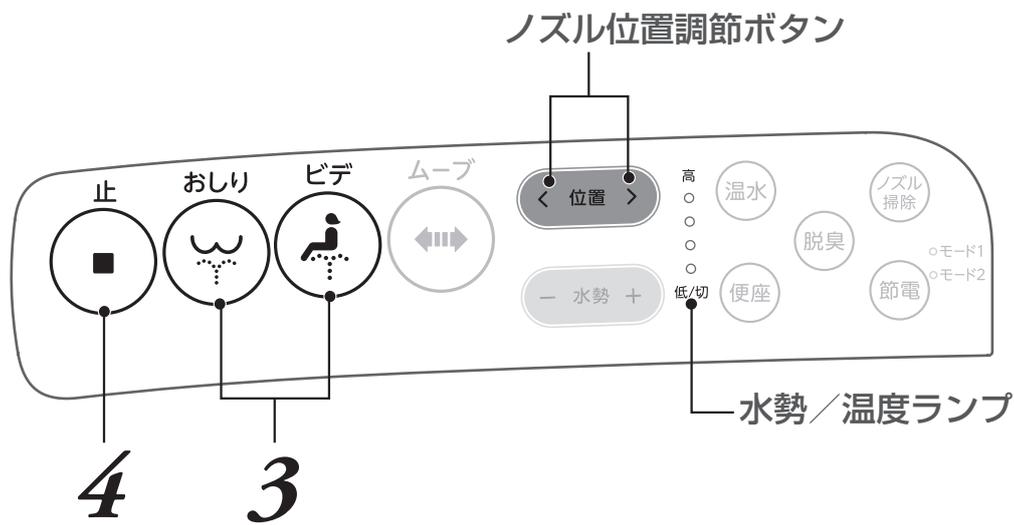
- 洗浄する前に、自動でノズルの洗浄をします。
- 水勢／温度ランプは温水温度を表示します。
- ノズル位置は、お好みに合わせて「ノズル位置調節」ボタンで調節できます。(→ 20 ページ)
- 連続して約 2 分使用すると、洗浄が止まります。続けて使う場合は、再度同じボタンを押してください。
- 連続で使用して洗浄水の温度が下がっている場合は、しばらく待って洗浄水が温まってからご使用になることをおすすめします。

お願い

- 操作パネルのボタンを必要以上に強く押さないでください。故障の原因になります。

「ピッピッ」と鳴って、洗浄水が出ない場合

- 着座スイッチが入っていないため、「おしり」または「ビデ」ボタンを押しても洗浄水が出ません。座り直して、「ピッ」と鳴ることを確認してから洗浄してください。



4 止 ボタンを押し、洗浄を停止する

- 洗浄後、自動でノズルの洗浄をします。ノズル出口付近でノズルが3回伸縮します。
- 水勢/温度ランプは便座温度の表示に戻ります。

お願い

- 「止」ボタンを押してすぐに「おしり」または「ビデ」ボタンを押しても、すぐに洗浄を開始しない場合がありますが、しばらくすると洗浄を開始します。

5 立ち上がる

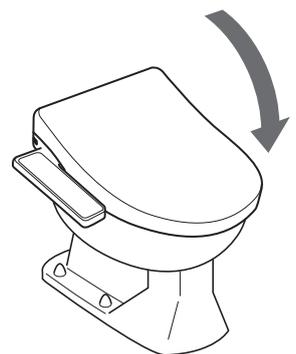
- 着座スイッチが切れ、洗浄操作ができなくなります。脱臭は、約1分後に自動停止します。
- 水勢/温度ランプは約1分後に消灯します。

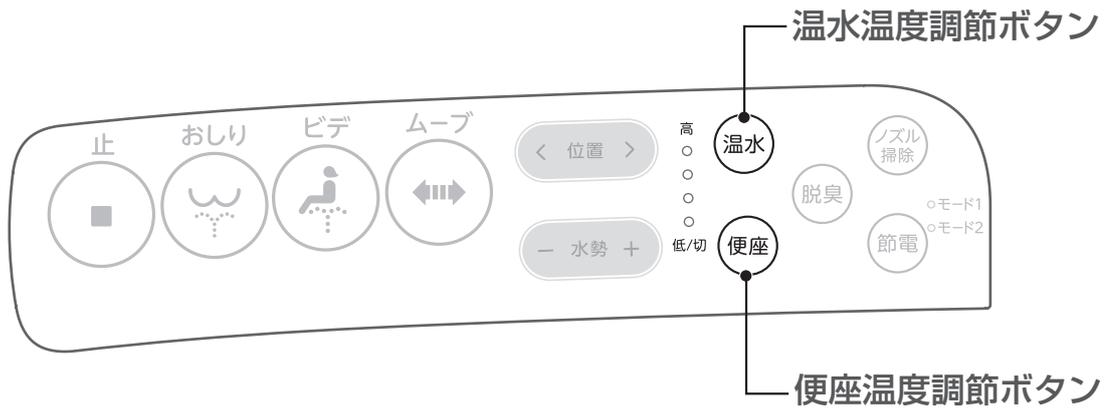
お知らせ

- 洗浄後、ノズル付近から水が出ますが、これは本体内部の残水が出てくるもので、異常ではありません。
- ノズル付近から水が少量出ることがありますが、これは温水タンク内の水が温められて膨張して出てくるもので、異常ではありません。
- 連続して水が出ているときは、何らかの異常が考えられます。止水栓を閉め、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターへお問い合わせください。

6 便座ふたを閉じる

- 便座ふた・便座はゆっくりと閉まる機構になっています。破損の原因になるため、便座ふた・便座は無理な力を加えないでください。

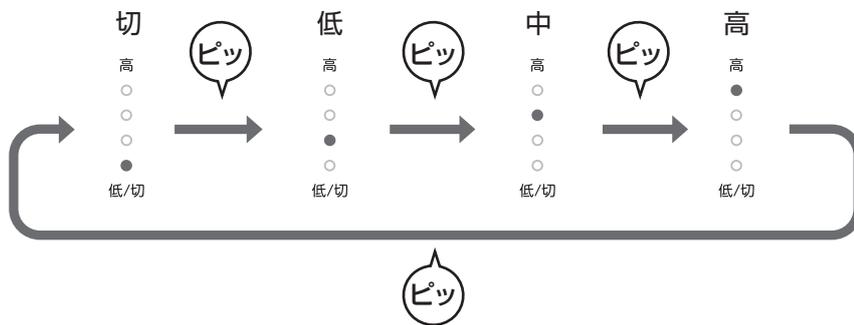




温水温度の調節

温水 ボタンを押す

- 温水タンク内の保温温度を設定します。洗浄中に操作しても、洗浄水の温度が変わるわけではありません。
- 3段階で調整できます。
- ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。
- 洗浄を続けると、洗浄水の温度は下がってきます。洗浄水が冷たく感じたら、いったん洗浄を停止し、温水タンク内の水温が上がるのを待ってからお使いください。



使
い
か
た

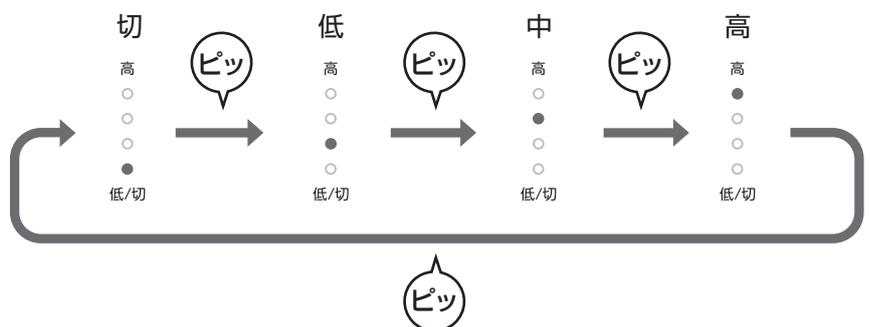
便座温度の調節

便座 ボタンを押す

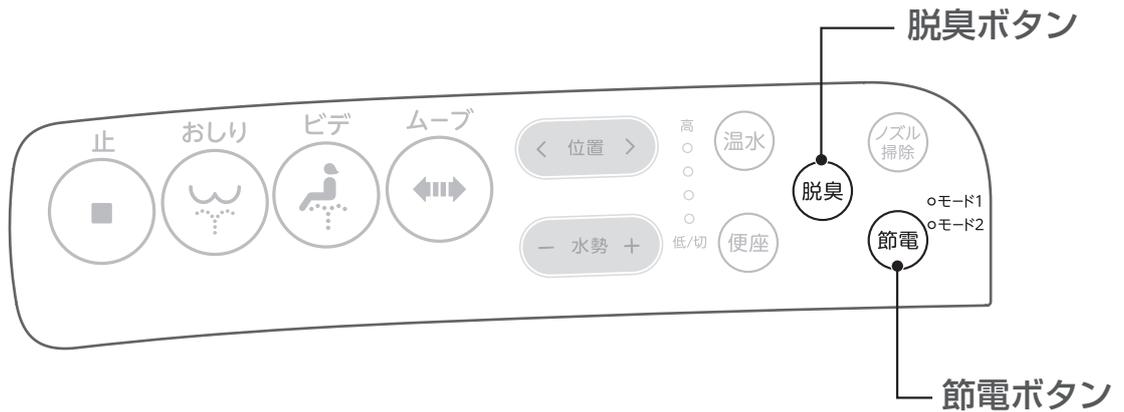
- 3段階で調整できます。
- ボタンを押すごとに設定温度が変更されます。
- 洗浄中は、水勢／温度ランプは温水温度を表示します。便座温度を調節したい場合は、ボタンを1回押して便座温度表示に切り替えてから設定温度を変更してください。

お願い

- 周囲温度によって、便座温度は変化します。使わないときに便座ふたを閉めておくと、温度低下を少なくでき、また電気代の節約にもなります。



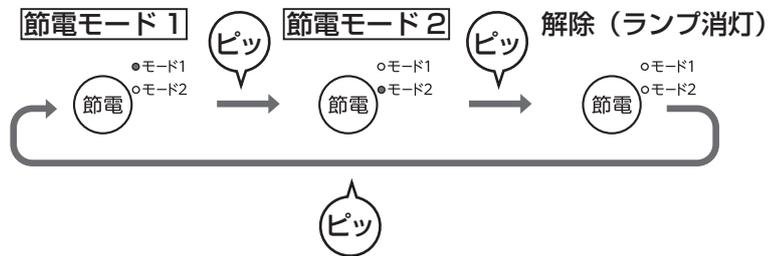
使いかた (つづき)



節電

節電 ボタンを押す

押すたびに右のように設定を変更します。



節電モード1

設定温度（低、中、高）に関係なく、温水温度は約 25℃、便座温度は約 28℃で待機します。（待機温度を低くして節電します）

便座に座る（着座スイッチが検知する）と…

- 温水ヒーターと便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度が上がります。（設定温度になるまで、約 4 分*かかります）

便座から立ち上がると…

- 温水温度は約 25℃、便座温度は約 28℃に戻ります。

節電モード2

温水ヒーターと便座ヒーターへの通電を節電モード2に設定したときから、8時間止めて電力消費を抑えます。

- 8時間止まったあと、温水ヒーターと便座ヒーターへの通電は再開され、設定温度で16時間運転します。16時間運転後、8時間止まるという動作を解除するまで毎日繰り返します。（→23ページ「節電モード2設定中の状態の例」参照）
- 就寝前などに設定すると夜間あまり使用しない時間帯の電力の節約になり、便利です。

便座に座る（着座スイッチが検知する）と…

- 通電が止まっている時間帯でも、温水ヒーターと便座ヒーターに通電し、設定温度まで温度が上がります。（設定温度になるまで、約 5～7 分*かかります）
- 操作パネルの「節電モード2」以外のランプも点灯します。

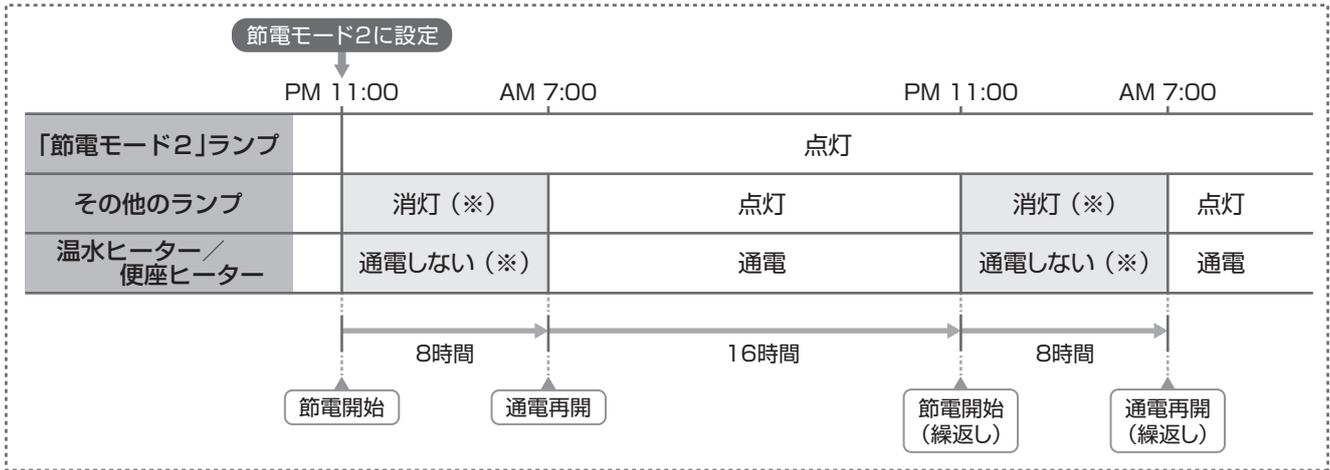
便座から立ち上がると…

- 座る前の状態に戻り、「節電モード2」以外のランプは消灯します。

*周囲温度などにより変わります。

節電モード2設定中の状態の例

[例]：「節電モード2開始時刻：午後11時」に設定した場合



(※)：

- 節電モード2設定中に便座に座ると、一時的に節電モード2が解除されます。「節電モード2」以外のランプも点灯し、温水ヒーター／便座ヒーターに通電します。
- 立ち上がると、座る前の状態(節電モード2)に戻ります。

その他の節電のコツ

●便座ふたは閉じておく

使用後に便座ふたを閉じておくと、便座表面からの放熱を減らすことができます。



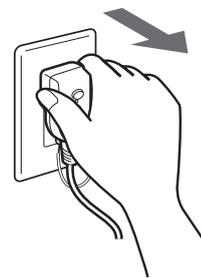
●設定温度を低めにする

季節に応じて、冷たさを感じない範囲で設定温度を低めに調節すると、節電になります。



●こまめに電源を切る

外出時など長時間使用しないときは、電源プラグを抜いておくと、節電になります。



お知らせ

- 瞬時停電などにより、節電モードが解除されることがあります。その場合は、再度設定してください。

脱臭

脱臭運転は着座すると着座スイッチにより脱臭ファンの動作が始まり、立ち上がると約1分後に自動停止します。(電源プラグを差し込むと脱臭運転をするように設定されます)

脱臭運転をするか、しないかを「脱臭」ボタンで切り換えます。



お知らせ

- 脱臭は、約15分で自動的に停止します。続けて使用する場合は、一度立ち上がって座り直してください。
- 脱臭機能は、便器内の脱臭を目的としております。トイレ全体を脱臭することはできません。

お手入れのしかた

警告



プラグを
抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になります。

注意

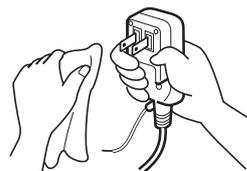


禁止

酸性やアルカリ性のトイレ用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどを使用しない
プラスチック・金具を傷めます。

電源プラグ

電源プラグを抜き、かわいた布でほこりなどをふき取る

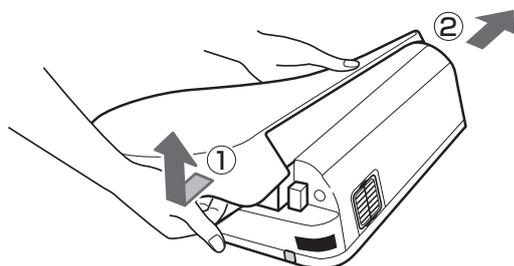


本体

1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. 柔らかい布などに水を含ませ、固くしぼってからふく
3. よごれがひどいときは、中性洗剤を柔らかい布に含ませてふき取り、そのあと水ふきする
 - 洗剤のご使用にあたっては、洗剤の用途をよく確認してからご使用ください。
 - 便座ふたは取りはずしてお手入れできます。
 - 本体も便器から取りはずしてお手入れできます。(→25ページ)
 - 本体裏側の脱臭吸込口のほこりなどは、ふき取ってください。
4. お手入れが終わったら、電源プラグをコンセントに差し込む(→16ページ)

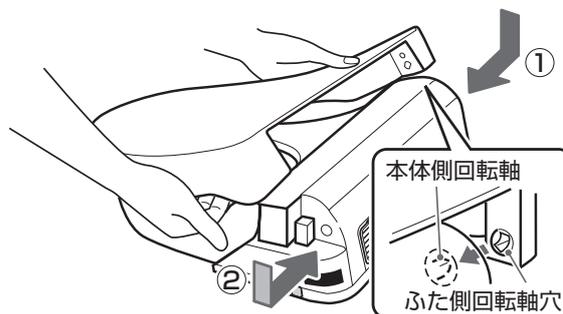


便座ふたの取りはずし・取り付けかた



取りはずしかた

- ① 便座ふたを閉じた状態で、右側を広げるようにして持ち上げて本体側の回転軸からはずす。
- ② 便座ふたを左側に移動させながら本体からはずす。



取り付けかた

- ① 便座ふたを閉じた状態で、便座ふた左側の回転軸穴を、本体側の回転軸に差し込む。
- ② 便座ふたの右側を広げながら、便座ふた右側の回転軸穴を本体側の回転軸に差し込む。
- ③ 便座ふたを何回かゆっくりと開閉させて異常のないことを確認する。

お願い

- 便座、便座ふたを無理に閉めないでください。回転軸が破損して便座、便座ふたの開閉に支障をきたすことがあります。

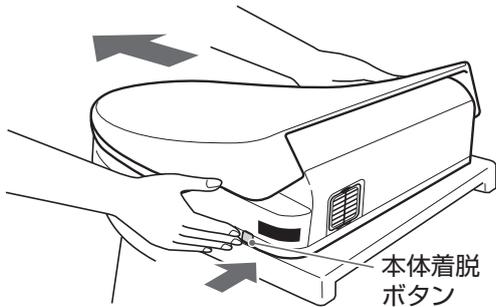
⚠ 注意



ストレーナーをお手入れするときは、止水栓を閉める
水もれの原因になります。

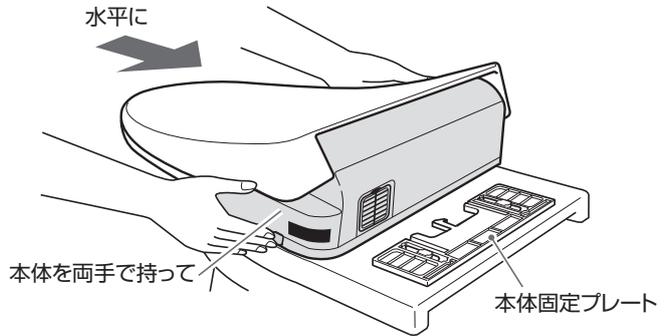
指示

本体の取りはずし・取り付けかた



取りはずしかた

- ① 電源プラグをコンセントから抜く。
- ② 本体右奥にある本体着脱ボタンを押したまま手前に引き出す。



取り付けかた

- ① 本体固定プレートガイド(→7ページ)と本体固定プレートを合わせ、カチッと音がするまで奥へ押し込む。
- ② 電源プラグをコンセントに差し込む。(→16ページ)

お願い

- 便座・便座ふたを持って本体を持ち上げないでください。本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
- 取りはずした本体を裏向きに置かないでください。傷・故障の原因になります。

ストレーナー

1. 電源プラグをコンセントから抜く

2. マイナスドライバーなどで止水栓を閉める

3. 本体から本体給水ホースを取りはずす

- 給水ホース内の残水で床をぬらさないように気をつけて、付属のスパナでナットをゆるめてください。

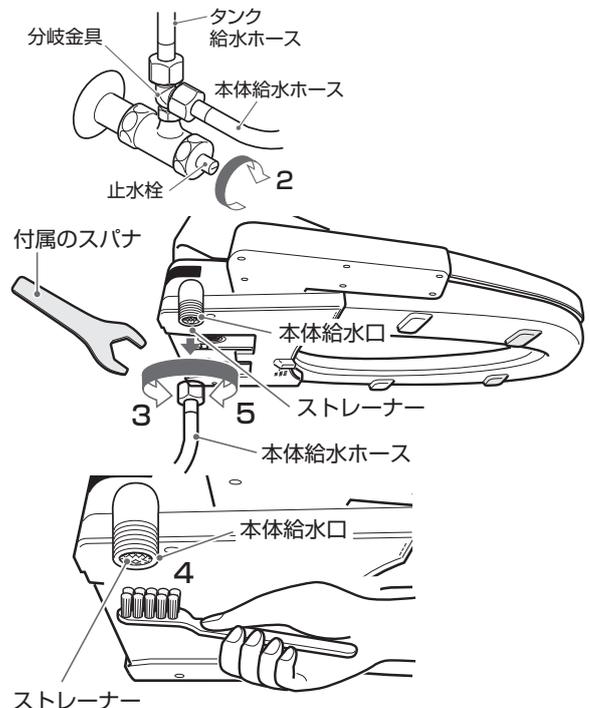
4. 歯ブラシなどでストレーナー内部の掃除をする

- ストレーナーは本体給水口に内蔵されています。

5. 本体に本体給水ホースを取り付け、止水栓を開ける

- ナットは付属のスパナで締め付けてください。
- 水もれしていないか確認してください。

6. 電源プラグをコンセントに差し込む(→16ページ)



お手入れ

お願い

- ナットから水もれしていないか、定期的(月1回)に確認をしてください。
- ストレーナーの着脱には専用の器具が必要になります。交換する場合は東芝家電ご相談センターにご連絡ください。

お手入れのしかた (つづき)

ノズル

1 電源プラグをコンセントに差し込む (→ 16 ページ)

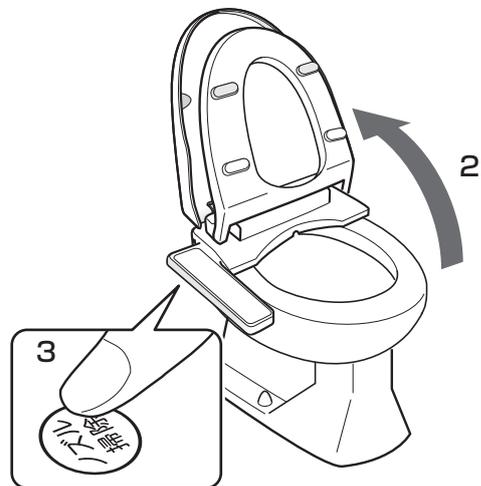
2 便座ふた、便座を開ける

3 **ノズル掃除** ボタンを押す **ピッ**

- ノズルが洗浄されながら伸縮し、ノズルが出た状態で停止します。

お願い

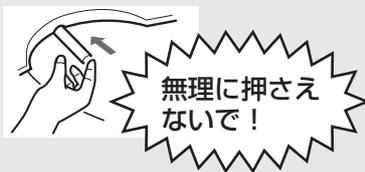
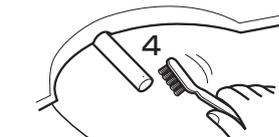
- ノズルに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。



4 柔らかいスポンジやブラシ、布などに水を含ませて、ノズルを軽くふく

お願い

- ノズルの穴を傷つけないでください。
- ノズルに無理な力を加えないでください。ノズル動作中にノズルを無理におさえると内部のギアが破損するおそれがあります。



5 **止** ボタンを押す **ピッ**

- ノズルが本体内に収納されます。
- 「ノズル掃除」ボタンでも操作できます。
- ノズル掃除の状態で2分経過すると、ノズルは自動的に本体内に収納されます。
- ノズルが戻るとき、ノズルを引っ張らないでください。
- ノズルの掃除を続けたいときは、もう一度「ノズル掃除」ボタンを押してください。

お願い

- ノズル掃除が終わったら、必ず「止」ボタンまたは「ノズル掃除」ボタンを押してノズルを本体に収納してください。ノズルを本体に収納しないと、正常に使用することができません。

お知らせ

- ノズルが本体に収納されるとき、音がすることがありますが、異常ではありません。

6 便座、便座ふたを閉める

- 便座・便座ふたはゆっくりと閉めてください。



⚠ 注意



禁止

脱臭カセット挿入口から、脱臭カセット以外のものを入れない

指などを入れると、挿入口の奥の脱臭ファンで、けがをする原因になります。



禁止

脱臭フィルターには、洗剤や水をかけない

洗剤をかけると塩素系ガスが発生し、気分が悪くなることがあります。

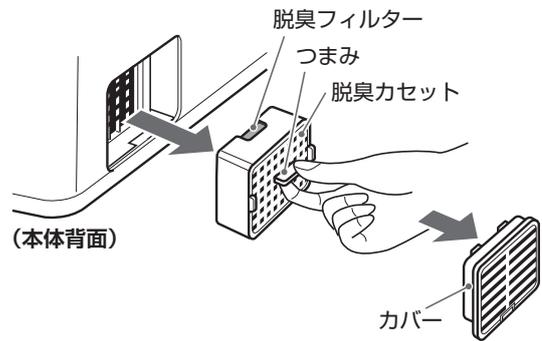
万一、洗剤がかかったときは、すぐ換気をしてください。

脱臭フィルター

1 カバーをはずし、つまみをつかんで脱臭フィルターを取り出す

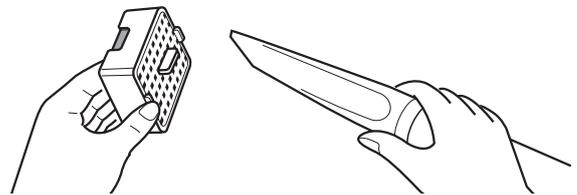
お願い

- 脱臭フィルターの水洗いはしないでください。性能が低下したり、形がくずれることがあります。



2 カバーと脱臭フィルターのほこりを、掃除機などで取り除く

- 脱臭フィルターの格子部分が触れると黒くよごれることがあります。身体や衣類によごれが付いた場合は水洗いしてよごれを落としてください。



3 脱臭カセットを元通りに差し込み、カバーを取り付ける

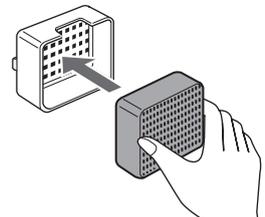
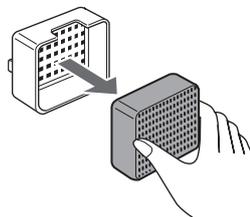
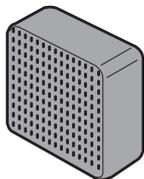
■脱臭フィルターのお取り替え

脱臭フィルターの寿命は約5年です。お手入れしても、においが気になる場合はお取り替えください。脱臭フィルターのご購入は、お買い上げの販売店へご注文ください。

■脱臭フィルター
(部品コード：50488636)

1. 寿命になった脱臭フィルターを引き抜く

2. 新しい脱臭フィルターをカセットに差し込む



凍結防止・長期間使わないときの処置のしかた

凍結のおそれがあるときは、配管部が破損する可能性がありますので水抜きをしてください。
長期間使わないときは、水が腐敗して皮膚の炎症などの原因となりますので水抜きをしてください。
ただし、下記の処置をするとロータンクおよび本体に給水されませんのでトイレは使えません。

凍結予防および長期間使わないときの処置のしかた

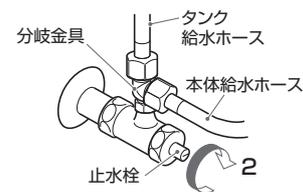
1 コンセントから電源プラグを抜く

- 電源プラグを抜かずに温水タンクの水を抜くと、温度ヒューズが溶断し、故障の原因になります。



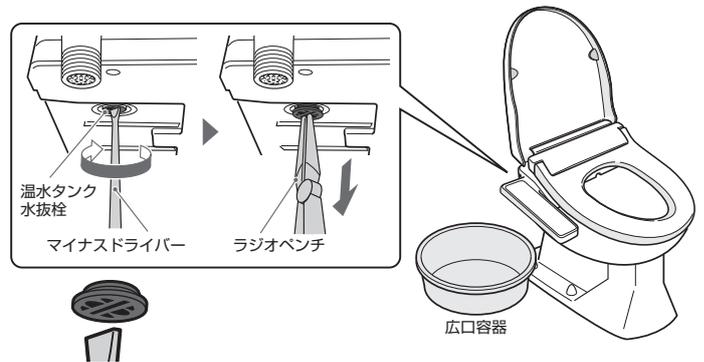
2 止水栓を閉める

- マイナスドライバーなどで止水栓を閉めてください。



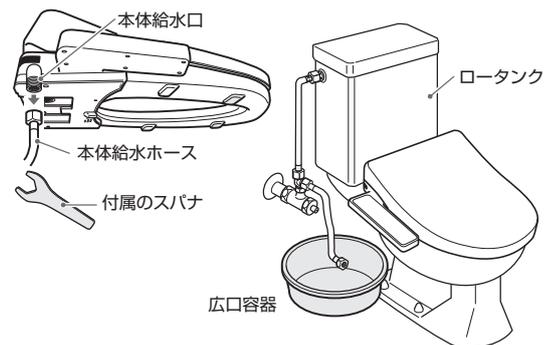
3 温水タンクの水を抜く

1. 便座を便器からはずす
(→ 25 ページ)
2. マイナスドライバーで温水タンク水抜栓を回してから、ラジオペンチで引き抜く
 - 排水は、2L以上の広口容器で受けてください。



4 給水ホースとロータンクの水を抜く

1. 本体給水口に接続されている本体給水ホースをはずし、はずした本体給水ホースの先端部分を広口容器に入れる
2. ロータンクのレバーを回し、ロータンク内の水を流し、空にする
 - ロータンクのレバーを回すと、給水ホース内の水も抜けますので、はずした本体給水ホースの先端部が広口容器に入っていることを確認してください。



凍結予防を解除する・使用を再開する

1 温水タンク水抜栓を元通りに取り付ける

3 止水栓を開ける

2 本体給水ホースを元通りに取り付ける

4 電源プラグを差し込む (→ 16 ページ)

15 ページ「本体給水ホースを取り付ける」
手順 2・3 参照

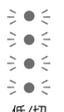
故障かな？と思ったら

修理サービスを依頼される前に、次の点をお調べください。

状態	原因	処置方法	ページ
動かない	● 停電していませんか。 ● ブレーカーが切れていませんか。	● 停電の復帰を待ってください。 ● ブレーカーを「入」にしてください。	—
	● 電源プラグが抜けていませんか。	● 電源プラグをコンセントに差し込んでください。	16
	● 電源プラグの入表示ランプが消灯していませんか。	● 電源プラグの入（リセット）ボタンを押してランプを点灯させてください。	16
	● 「ノズル掃除」ボタンを押した後、ノズルが出たままになっていませんか。	● 「止」ボタンまたは「ノズル掃除」ボタンを押して、ノズルを本体に収納してください。	26
ノズルが出ない	● 便座の中央部に腰かけていますか。	● 便座の中央部に座り直してください。	18
洗浄水が出ない	● 断水していませんか。	● 断水の復帰を待ってください。	—
	● 止水栓が閉まっていますか。	● 止水栓を開けてください。	15
	● 本体給水ホースなどが凍結していませんか。	● お湯に浸した布などで凍結部をあたためるか、または室内をあたためて解凍してください。（熱湯や熱風による解凍はホースを破損するおそれがあります）	—
ノズルの周辺から水が流れる、洗浄水が止まらない	● おしり・ビデ洗浄の開始前や終了後ではありませんか。	● 洗浄前と洗浄後にノズル洗浄をします。故障ではありません。	18,19
水勢が弱い	● ストレーナーにゴミが詰まっていますか。	● ストレーナーを掃除してください。	25
	● 本体給水ホースが折れ曲がっていますか。	● ホースの折れ曲がりをなくしてください。	15
	● ノズルが目詰まりしていませんか。	● ノズルを掃除してください。	26
	● 水勢が「低」になっていませんか。	● 水勢を「高」に調節してください。	20
洗浄水がぬるい、冷たい	● 温水温度調節が「切」「低」に設定されていませんか。	● 設定温度を「中」「高」に調節してください。	21
	● 連続して洗浄していませんか。	● 約5～7分*待ち温水タンク内の水をあたためて使用してください。	17
	● 節電ランプが点灯（節電モード設定中）していませんか。	● 温水タンク内の水があたたまるまで着座後約4～7分*待ってください。	22
便座がぬるい、冷たい	● 便座温度調節が「切」「低」に設定されていませんか。	● 設定温度を「中」「高」に調節してください。	21
	● 節電ランプが点灯（節電モード設定中）していませんか。	● 節電モードに設定しているため、あたたまるまで時間がかかります。着座後約5～7分*するとあたたかくなります。	22
脱臭が動作しない	● 便座の中央部に腰かけていますか。	● 便座の中央部に座り直してください。	18
	● 脱臭を解除していませんか。	● 「脱臭」ボタンを押して、脱臭を設定してください。	23
脱臭が途中で止まる	● 約15分以上着座していませんか。（約15分で脱臭が止まります）	● 一度立ち上がって座り直してください。	23
においが取れなくなった	● 脱臭フィルターにほこりが詰まっていますか。	● 脱臭フィルターのお手入れをしてください。	27
本体がガタつく	● 本体を固定している取付ボルトの締め付けがゆるんでいますか。	● 取付ボルトを締め付け直してください。	11

*周囲温度により、あたたまる時間が異なることがあります。

下記のようにランプが点滅したときは、ご使用をやめて電源プラグを抜き、点検・修理をご依頼ください。

 ● 温水温度異常または、温水温度センサーの故障による温水温度制御不能です。	 ● 便座温度異常または、便座温度センサーの故障による便座温度制御不能です。	 ● タンク内の水量低下・不足（水もれなど）または、水位センサーの故障などによる水位制御不能です。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

●電源プラグを差し込むとすべてのランプが点滅しますが、初期動作によるもので異常ではありません。（→17ページ）

安全にお使いいただくために

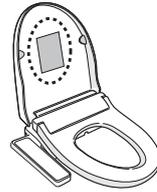
(本体への表示内容)

経年劣化により事故に至るおそれがあることをお知らせするために、本体に以下の内容の表示をしております。

■製造年（本体に西暦 4 桁で表示しています）

【想定安全使用期間】 10 年（一般家庭用に設置された場合）

想定安全使用期間をこえてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。



■想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化をいいます。

■標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V、50/60Hz	機器の定格電圧／周波数による
	温度	20℃	JIS A 4422 による
	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A 4422 による
付加条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	JIS A 4422 による
想定条件	4 人家族（男性 2 人、女性 2 人）において、大便：1 回／日・人、小便男性：4 回／日・人、小便女性：4 回／日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ 15 秒間とする		JIS A 4422 による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている。		

仕様

形名	SCS-TCL6010	
電源	交流 100V 50/60Hz 共用	
年間消費電力量 (2012 年度基準)*1	149kWh/年 (214kWh/年)	
省エネ基準達成率 (2012 年度基準)*1	122%	
区分*2	貯湯式	
定格消費電力	650W (電気温水器 600W・電気便座 50W)	
使用可能給水圧力	0.07 ~ 0.75MPa	
給水温度	約 5 ~ 35℃	
温水洗浄装置	おしり洗浄	約 0.38 ~ 0.53 (L/分)
	ビデ洗浄	約 0.33 ~ 0.48 (L/分)
	水勢調節	おしり、ビデ各 4 段階
	温度調節*3	3 段階調節 (約 34℃ ~ 40℃)、およびヒーター「切」
	ノズル位置調節	7 段階調節
	温水ヒーター	600W
	温水タンク容量	約 0.4L
安全装置	サーモスイッチ (温度過昇防止器)、温度ヒューズ、水位センサー	
暖房便座装置	温度調節*3	3 段階調節 (約 33℃ ~ 39℃)、およびヒーター「切」
	便座ヒーター	50W
	安全装置	サーモスイッチ (温度過昇防止器)、温度ヒューズ
脱臭	脱臭フィルター	触媒脱臭
	脱臭風量	約 0.11m³/分
節電モード	モード 1、モード 2 (8 時間タイマー節電)	
そのほかの安全装置	漏電保護プラグ	
外形寸法	幅 456mm × 奥行 530mm × 高さ 150mm	
本体重量	約 4.8kg	
電源コード	長さ約 1.0m	

*1 年間消費電力量測定基準

省エネ法 (2012 年度基準) に基づいて、湯沸かし方式などの種類別の算定式により、算出したものです。タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間 (7.7 時間) で算出しています。タイマー節電機能を使用しない場合の消費電力量を () で表示しています。

*2 省エネ法 (2012 年度基準) の区分。

*3 使用される環境条件により、変わることがあります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

①基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

ホームページの<お客様サポート>に、ご確認いただきたい情報を掲載しておりますので、ご覧ください。

PC <https://www.toshiba-lifestyle.co.jp/support/>
→「温水洗浄便座」をクリック →「よくあるご質問Q&A」をクリック

スマートフォン・
タブレット端末



※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。
その場合は、お手数ですが、<https://www.toshiba-lifestyle.com/jp/>をご参照ください。

②商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝生活家電ご相談センター」

フリーダイヤル

0120-1048-76

受付時間 月～土 9:00～18:00 日・祝日 9:00～17:00

※当社指定休業日を除く

携帯電話・PHSなど **0570-0570-33** (通話料：有料)

FAX **022-224-6801** (通話料：有料)

※お電話をいただく際には、番号をよくお確かめのうえおかけ間違いのないようお願いいたします。

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱い・お手入れ・部品の購入についてご不明な点は

お買い上げの販売店または、「東芝生活家電ご相談センター」(上記)にご相談ください。

保証書 (一体)

- 保証書は、この説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間は**お買い上げの日から1年間**です。
- 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、**無料修理**となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

- 温水洗浄便座の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

29～30ページ「故障かな?と思ったら」「安全にお使いいただくために」に従って調べていただき、なお異常があるときは、「止」ボタンを押して使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。

■保証期間中は.....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

廃棄時のお願い

廃棄はお住まいの市区町村のルールに従ってください。

出張修理

■修理料金のしくみ.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

便利メモ	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げ店名	電話 ()		



愛情点検

長年ご使用の温水洗浄便座の点検をぜひ!

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ホコリなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

- このような症状はありませんか。
電源プラグにたまって
いるホコリは取り除いて
ください。
- コンセントがガタついている。
 - 水もれがする。
 - 焦げ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。
 - 本体に触ると、ビリビリ電気をを感じる。
 - ボタンを押しても動作しないときがある。
 - 電源コード、プラグ、本体が異常に熱い。
 - そのほか、異常・故障がある。

ご使用中
止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店または東芝生活家電ご相談センターに点検、修理をご相談ください。

必要なとき

東芝温水洗浄便座保証書

出張修理

形名	SCS-TCL6010		
★お名前	お名前	ふりがな	
	ご住所	〒 □□□□-□□□□	
★お客様	電話		
	保証期間	1年	★お買い上げ日 年 月 日から
★ご販売店	住所・店名 電話		

東芝ライフスタイル株式会社 キッチン・リビング事業部
〒210-8543 神奈川県川崎市川崎区駅前本町25-1 電話 (044) 577-0108

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。

修理の際には本書をご提示ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下、運送などによる故障、損傷。
- (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧による故障、損傷。
- (ニ) 本書のご提示がない場合。
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
- (ヘ) 家庭用以外（店舗などでの長時間使用や不特定多数の人の使用、車両・船舶に搭載など）で使用された場合の故障、損傷。
- (ト) ご使用による容器のよごれ。
- (チ) 消耗部品の交換

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ	修理年月日	修理内容	担当
	年 月 日		
	年 月 日		

- 2. 離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合には出張に要する実費を申し受けます。
- 3. 修理のために取りはずした部品は特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 5. ご転居またはご贈答などで、お買い上げの販売店に修理のご依頼ができない場合には、以下の窓口にご相談ください。

「東芝生活家電ご相談センター」

〒210-8543 神奈川県川崎市川崎区駅前本町25-1

フリーダイヤル 0120-1048-76

なお、このフリーダイヤルは携帯電話やPHSではご利用になれません。詳しくは取扱説明書をご確認ください。

東芝ライフスタイル株式会社

キッチン・リビング事業部

〒210-8543 神奈川県川崎市川崎区駅前本町25-1